

令和4年8月4日

全国公立学校教頭会研究大会
岩手大会参加者の皆様

第64回全国公立学校教頭会研究大会岩手大会
実行委員長 相原 伸裕

第64回全国公立学校教頭会研究大会岩手大会の開催について（御礼）

盛夏の候、皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、令和4年7月28日、29日に開催いたしました、第64回全国公立学校教頭会研究大会岩手大会兼第42回東北地区小中学校教頭会研究大会兼第47回岩手県小中学校副校長会研究大会の開催にあたり、皆様にご参加いただき、成功裏に終えることができました。誠にありがとうございました。

コロナ禍の中での開催ということで、初のハイブリッド開催として準備を重ねてきた中ではありましたが、新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大を受け、急遽完全オンライン大会として開催することとなりました。

大会につきましては、おかげさまで、両日とも約2,000名の全国の会員の皆様にご参加いただくことができました。

振り返れば、大会1日目の大友啓史氏の記念講演では、「アドリブ力を育てる」の演題の中、映画撮影と学校現場の共通点、そして、学校現場に対する大いなるご示唆をいただきました。また、復興教育10年の節目のシンポジウムでは、本県にて推進する復興教育についての意義とともに、全国で推進する防災教育の在り方について方向性を示していただきました。

また、2日目は、zoomによる10の分科会別協議会で、私たち、副校長・教頭の抱える教育的諸課題に対して、全国の会員による実効的かつ具体的な提言をもとに協議を行うことができました。協議にあたっては、ランダムなグループ分け、グループでの協議内容の全体共有等、オンラインでありながらも、有機的な協議となったことは、本大会の大きな成果の一つであると感じております。

今後、本大会で得られたことを各校に還元していただければ幸いです。

全国公立学校教頭会岩手大会にご参加いただき、本当にありがとうございました。今後の皆様方のご活躍を心より祈念しております。

いつの日か、岩手にお越しいただける日を楽しみにしております。